

高速通信回線(光ファイバー)の整備の推進を

宇津木治宣 議員



Q 情報化社会が到来している。インターネットなどの高速通信回線「ブロードバンド」サービスのインフラ整備は緊急の課題だ。

A 町長 当町において光ファイバーが整備されている地域は、現在のところ板井、上之手、角瀬のみである。小泉、箱石、川井、下之宮地区では、A

Q DSLも提供されていない地域がある。

A 町長 ADSL未提供地域には、工業団地も含まれ進出の障害になる。NTTに対して早期整備を申し入れたところ、宇

Q 障害者自立支援法の施行により、原則1割の応益負担が導入され、利用者や授産施設の運営に影を落としている。

A 町長 支援法には5年の経過措置がある。その後は、国・県の補助金が打ち切られるので、利用者や運営者である社会福祉協議会などと協議の上

「自律訓練」・「就労移行支援」・「就労継続支援」と「地域活動支援センター」などの新体系サービスに移行する。



福祉パレード(役場正面玄関前)

英語力向上のためコンピュータの効果的運用をせよ

中里 知恵子 議員



Q 英語学習にコンピュータ(PC)の利用を考えているか。(現在、玉中、南中にPCが40基あるが、英語の授業には利用されていない。)

A 教育長 週3時間という限られた時間内での利用は考えていない。

Q 英語の自習・反復練習に効果があるのがPCといわれている。教育政策を実現するのが教育行政であり、地方分権による独自性を発揮する好機と考えるがどうか。

A 教育長 独自性の発揮とは、目新しいことや、他がやっていないことをすることではないかと思う。外国人指導助手による授業を重視している。

Q 農業を振興させる新たな施策はないのか。年々後継者が減少し、暗澹たる現実がある。



フルデジタル学習システム(生徒は、PCで英語を自習・復習できる)

Q 安心して食べられる食料、食文化、環境の保護に果たす農業の役割は大きく、計り知れない。他の産業と併合して玉村町独自の企業投資はできないものか。